



No.799
2023.9.15

発行：男声合唱団 昴
レッスン会場：
大阪市中央区谷町7丁目1-39
谷町第2ビル308号 ねむかホール
連絡先：090-6058-5652(立川)

14回コンサート成功に向け

レッスン日・時間に注意！あと8回、全員出席で

- 10月1日(日)13:00 合同レッスン(第3部通しリハ)
 - 10月15日(日)13:00 合同レッスン(第1部通しリハ)
- それぞれ、友の会と特別団員に加わってもらい通し練習をします。10/1 13:00～は定例ではありませんが、都合をつけてぜひともご参加ください。

昴14回コンサートを成功させましょう 団長 千秋昌弘

私は7月にコロナにかかり、昴のリック本番にも出れず、落ち込んでいたこともありましたが、出足が遅れ、昴への取り組みも遅れていました

8月に入り、日うたもありましたが、何とか遅れを挽回したいと郵送に取り組みだしました。同時に地域への宣伝も開始しました。というのも、私が遅れたせいで大東市の行政区後援会主催のバスツアーの日程が10月22日に決まったとの事でした。昴コンサートの日です。日をずらしてほしいと掛け合いましたが会議で決まったのでと冷たい返事。でも自分の取り組みの遅れのせいですから何とか昴の宣伝をと、チラシを赤旗日曜版に折り込みました。

その成果として、後日、「バスツアーの日程を変更する」と連絡がありました。

また最近、集金に行ったら読者から、コンサートのチケット下さいと4000円下さいました。他にもあり、近所で3枚売れました。

もう一つ自分の加齢の原因で、視力が落ち、小さい字が見えずらく、郵送した自分の口座番号が末尾が5なのに6で印刷して郵送していたことが分かりました。大急ぎで、徹夜で郵送したすべての人(約150通)にお詫びと訂正の手紙を出しました。それを見て振り込んでくれた人も多くいました。

現在まだ30数枚の上納ですが、14回コンサート成功のため頑張りたいと思います。

9月～10月の活動予定 (会議を除く)

- 9/15(金) 18:00 定例レッスン
- 9/17(日) 14:00 地底のうた練習⑤、定例レッスン
- 9/21(木) 17:00 声楽千秋教室Ⅱ
- 9/26(火) 14:00 追加レッスン(第4火曜昼忘れずに)
- 9/29(金) 18:00 定例レッスン(第5金曜夜復活分)
- 10/1(日) 13:00 合同レッスン(第3部通し)昴団員
- 10/1(日) 14:00 昴友の会との合同
- 10/3(火) 15:00 T1.2パートレッスン
- 10/6(金) 13:30 声楽中村教室
- 10/6(金) 18:00 定例レッスン
- 10/10(火)13:30 声楽千秋教室Ⅰ
- 10/10(火)18:00 Br. Bsパートレッスン
- 10/15(日)13:00 合同レッスン(第1部通し)昴団員
- 10/15(日)14:00 地底のうた特別団員との合同
- 10/19(木)17:00 声楽千秋教室Ⅱ
- 10/20(金)18:00 定例レッスン
- 10/22(日)14:00 第14回コンサート(9:30集合予定)
- 10/29(日)14:00 定例レッスン

あらゆる繋がりを生かして券売りを！ 事務局長 立川孝信

券は250人に郵送しました。振り込みいただいたのは10人です。

手売りしたのは25人です。

人と出会う度に券を2枚預けます。勿論来てくれる方はすぐ入金してもらいます。

何か集会があると訴えさせてもらうことが大切です。

堺で参加してる市民合唱団ではたっぷり宣伝させていただき9枚売れました。

日うたで出会った人には7枚預けました。そして帰りのフェリーの風呂で出会ったバイクで世界中を探検している大阪の方には2枚買ってもらいました。まさに裸の付き合いの成果です。

人生を賭けて歌っている昴のうたごえを一人でも多くの方に届けましょう。

昴第14回コンサートまで、残すところ約1か月。

みなさんは、今、ワクワクですか？ドキドキですか？

どんなに素晴らしい演奏ができて、観客席がガラガラでは寂しいですね。観客席がいっぱいでも、つたない演奏では申し訳ないです。団長、事務局長、副指揮者にコンサート成功に向けて文章を寄せてもらいました。みんなの力で最後まで頑張らしましょう。

演奏面でも最高の舞台を実現させよう

副指揮者・技術部長 伊藤 知

歳に負けないで 歳取ると日々何らかの体調不具合に悩まされるが、できることからやるしかない。

声を出す気力も環境もないときは、練習の録音を聴く。昴HP団員専用頁から練習の録音を聴くこともできる。譜面を見て、声を出さずに歌ってみることも、とても大事な練習になる。曲のイメージをつかみ歌い方に思いをはせる。

声出しできるときは水分補給用の飲み物を手近に用意し、発声練習で喉慣らし、軟口蓋を高く広く保つことを意識する。自然な表情で声出しする。

鏡の前に立つ 鏡を見ながら練習すると自分の表情を確認できる。目の表情も大事、歳取ると目がしほみがちだが、キラキラした瞳で歌えれば、自然と軟口蓋が高くなり高い響きの声で音程が決まりやすい。

音程確認 確かな音程で歌えているか、しっかりとチェックしながら歌う。キーボードがなければスマホの機能が使える。間違いやすいフレーズは、間違わずに歌えるようになるまで、何度も繰り返して練習し、正しておく。皆に迷惑かけないためにも必須だ。

表情・表現 歌詞に合わせた表情で歌う。声色・強弱・クレッシェンド・デクレッシェンドにも十分な注意を払って歌う。坂井指揮者の指示を細かく思い出し、練習に活かす。

自信をもって歌える 自信を持って自分のパートを歌えるように、周りに頼らず一人でも歌えるようにする。同時に周りの声を聴いて歌うことも大事。声質・響かせ方・音高など指揮者の注文に合わせてよう。

回数多く練習 2日に一度は14回コンで演奏する曲全部を一通り歌ってみる。週に一度はプログラム順に頭から通して歌う。その時、トイレ休憩や喉潤しは、舞台出入りのタイミングで行うようにする。

高齢者合唱団だが 昴は実質的に高齢者合唱団となった。比較的元気なメンバーも居るが、80歳超がほぼ半数。しかし、ステージで歌うときは年齢を感じさせない声が出せるようにしたい。

姿勢良く過ごす 日々の生活態度がモノを言う。これから本番までの一ヶ月余、健康管理だけでなく、日々良い姿勢で過ごすことを心がけたい。姿勢が良ければ健康につながり、気持ちも晴れ、声にも良い。

暗譜 曲の成り立ち・それぞれのフレーズの歌い方を含め曲の構成と歌詞全体を頭に入れてしまうこと。最後の1ヶ月、心残すことなく練習をやり遂げよう。

団内コンサート開催にあたって

団内コンサート担当 大島成美

昴の団内コンサートは今回で12回目になります。団内コンサートは何のために何故するのでしょうか。

男声合唱団昴は、うたごえ運動の大阪の中心合唱団の一つとして20数年前から活動してきました。しかし、最盛期には50人超えの在籍数を誇っていた合唱団も、今では、練習参加者が半数を切るまでになっています。

現状打開を図る上で団員拡大を図るのが一番ですが、歌唱の技量を高めることも欠かせない要素となります。

団員は、希望で団内で実施する教室に入り、月1回個人指導(声楽教室)を受けます。その中で団内コンサートに出たい人が出演することになります。もちろん、教室に入っていない団員も出演できます。

もう少しだけ、掘り下げて考えてみたいと思います。

個別に歌唱指導を受けるには、自分一人で歌わなければなりません。その緊張は個人差はありますが、相当なものです。結構覚悟がいります。歌える歌えないがはっきりします。歌の技量(発声法、声の質、リズム感など)は自己判断でもよくわかります。その経験は合唱の練習の時、凄く生かされます。その積み重ねが合唱全体のレベルアップにつながります。

合唱のレベルを上げる一つとして、正確な音程やリズムで歌うことが要求されます。正確な音程やリズムは自分ではできているつもりでも、微妙に上がったたり下がったりずれたりします。これは、個人指導の時、よく是正してもらえます。指揮者が指導の途中で音やリズムのずれを指摘された時でも指導された時を思い出し、早く正確に修正できます。指揮者は個人指導(声楽教室)の役割を実感することも多々あります。

これからさらに、少しでも、参加する団員が増加することを期待します。(今年は11/19(日)開催です)

外山雄三さんとの思い出

(「うたごえ新聞 8月7日付」を観て)

Br 清水恭太郎

1963年ごろ私が21歳の時、労音公演のベンジャミン・ブリテン作曲の「戦争レクイエム」に合唱団の一人として参加した時が初めてでした。それが合唱指揮桜井武雄・オーケストラ指揮外山雄三コンビの始まりです。

戦争レクイエム公演は3月だったので、この合唱団を解散させるのはもったいないと言う事で年末の「第9」が始まり、夏はレクイエム等を、冬は「第9」と全国労音で広める運動をし、全国に広めたのです。

私は、すぐに「大阪第1合唱団」と「フロイデ合唱団」に入り、週2回の練習をこなしていました。

外山先生とはカール・オルフ「カルミナ・ブラーナ」5回程あった公演の真ん中で、楽譜を外して暗譜で唱えと指示され、役員であった我々は先生に抗議しましたが「演奏会は私の責任です。」と言われ「シュン」となった事もありました。

又、正月に当時芦屋に居られた先生宅に招待され、何人かが飲みに行った事もありました。演奏会の打ち上げで、大阪フィルの管楽器奏者5人をつれて、先生ピアノ弾きジャズ演奏を聞かせてくれたことが、幾度かありました。

5年程前名古屋であった「うたごえ祭典」時に楽屋に訪ねていき少しお話したのが、最後でした。

ご冥福お祈りします。